

事業所における自己評価総括表				
事業所名	放課後等デイサービス Koko		公表日	令和 8年 4月 15日
保護者評価実施期間	令和 8年 3月 31日 ~ 令和 8年 4月 7日		保護者回答数	6
事業所評価実施期間	令和 8年 4月 1日		年度	令和7年度
保護者等からの事業所評価及び従業者評価を踏まえ、事業所全体で自己評価を行い、強み・課題と今後の取組を整理した。				
事業所の強みだと思われること				
事業所の強み		工夫していることや意識的に行っている取組等		
① 個々の特性やニーズに応じた支援		アセスメント、日々の行動観察、支援記録、モニタリング等を踏まえ、個別活動と集団活動を組み合わせて支援している。		
② 保護者との情報共有・家族支援		HUG、送迎時、面談等を通じて日常的に情報共有し、家庭での関わり方等について必要な助言や情報提供を行っている。		
③ 職員間の情報共有とチーム支援		支援前の打合せ、支援・送迎終了後の振り返り、申し送り等により、常勤・非常勤職員間で必要な情報を共有している。		
④ 安全管理・非常時対応の体制整備		安全計画、BCP、各種マニュアルを整備し、安全点検、研修、避難訓練、ヒヤリハットの共有・再発防止に取り組んでいる。		
⑤ 関係機関・地域との連携		学校、相談支援事業所、就学前の関係機関等と必要な情報共有を行い、清水町自立支援協議会・子育て部会に参加している。		
さらに充実を図るための取組等				
現在の取組を継続し、保護者評価・従業者評価や日々の支援の振り返りを業務改善に活かす。				
事業所の弱み(改善が必要な点)だと思われること				
事業所として考えている課題		課題の要因等		
① 地域のこどもとの交流機会が少ない		地域資源の活用は行っているが、放課後児童クラブや児童館、地域のこどもとの継続的な交流機会は十分ではない。		
② 児童発達支援センターとの連携機会がない		地域に児童発達支援センターがなく、スーパーバイズや助言を受ける機会を設けていない。		
③ 保護者・きょうだい同士の交流機会がない		個別の相談支援は行っているが、保護者同士・きょうだい同士の交流を目的とした機会は設けていない。		
④ 第三者による外部評価を実施していない		保護者評価・従業者評価による自己評価を中心に業務改善を行っている。		
⑤ 食物アレルギー対応の医師指示書が未整備		対象児について保護者と対応方法を共有しているが、医師の指示書等に基づく対応には至っていない。		
改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等				
・地域交流は、こどもの特性・希望・安全面に配慮しながら、地域資源の活用や交流機会を検討する。 ・近隣の児童発達支援センターや専門機関等から助言・研修を受ける機会について検討する。 ・保護者・きょうだい同士の交流は、保護者のニーズを把握した上で必要性や実施方法を検討する。 ・第三者評価については、必要性や実施方法を検討する。 ・食物アレルギー対応は、医師の指示書等により必要な対応を確認し、個別対応を明確にする。				